



こうじのうきのうしょう 高次脳機能障がい

交通事故などによる頭部外傷や脳出血・脳梗塞などの脳血管疾患、その他の病気により脳が損傷を受けると、身体の障がいとは別に、思考や記憶、注意、言語などの脳機能の一部に障がいがあることがあります。これが、高次脳機能障がいです。

障がいの状態

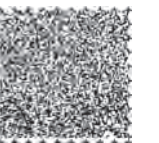
次のような状態が単独又は重複して出現し、表れる程度にも強弱があります。

- | | | |
|--|--|--|
| <p>記憶障がい ……………</p> <ul style="list-style-type: none"> 物の置き場所を忘れる 新しい出来事を覚えられない 同じことを繰り返し質問する | <p>注意障がい ……………</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼんやりしていてミスが多い 複数のことを同時に行くと混乱する 作業を長く続けられない | <p>遂行機能障がい ……………</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画を立てて物事を実行することができない 人に指示してもらわない と何もできない 約束の時間に間に合わない |
|--|--|--|

- | | | |
|---|--|---|
| <p>社会的行動障がい ……………</p> <ul style="list-style-type: none"> 興奮する、暴力を振るう 思い通りにならないと大声を出す 自己中心的になる | <p>失語症 ……………</p> <ul style="list-style-type: none"> 口やのどには障がいがないのに、言葉が出てこない 聴力や記憶力には問題がないのに、言葉の意味が分からない | <p>失行症 ……………</p> <ul style="list-style-type: none"> 手や指に障がいがなく、記憶力にも問題はないのに、食事や字を書く、衣服を着るといった、日常的な行動ができない |
|---|--|---|



▲目の不自由な方のための音声コード



▲目の不自由な方のための音声コード



はいりよ
配慮

こんなサポートがうれしい!

障がいがあることを理解してください。

外見からはなかなか分からないため、周りの人から理解されにくく、本人自身も障がいを十分に認識できないことがあります。日常生活や仕事、対人関係などの面で、病気やけがの前と同じことができず、自信をなくし不安になりやすいことを知ってください。

感情のコントロールが難しいときは気分転換をさせてください。

行動や感情を適切にコントロールすることができなくなる場合があります。イライラして怒りっぽくなっていたり、落ち着きがなくなったりと、疲れているように見える場合は、休憩して気分転換するよう促してください。

1日の予定などが紙に書いてあると行動しやすくなる場合があります。

記憶力などが不十分なことに配慮してください。作業のチェックリストや機械の使用法、1日のスケジュールなどが紙に書いてあると行動しやすくなります。また、周りの人から別々のアドバイスをされると混乱するので、情報共有をした上でのサポートをお願いします。

コミュニケーションのサポートをしてください。

話を聞いていても、内容が理解できず集団の中で取り残されたり、ほかの人に伝達することができず誤解が生じたりする場合があります。話の輪に入れるよう配慮したり、間に入って理解を助けたりしてもらとうれしいです。

事例

たとえば、こんなことがあります。

病気の後遺症で高次脳機能障がいになった人が、発病前の職場に復帰した際、物事や約束を忘れやすいため、「以前と同じようなペースで仕事をするのが難しい…」と悩んでしまう場合があります。周囲の理解が得られないと状況が悪化することもあります。本人の状態に合わせて仕事の内容や量を調整したり、一緒に作業したりするなどの配慮をしてください。



周囲のサポートを得て働いています